



ViewSnap

ビュースナップ

業種を問わず使える CAD 図面ビューイング・検知ツール

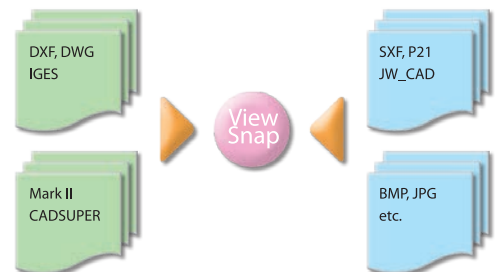
設計者(作成者)の意図を取り込み、
 検証者(あなた)の意思を伝えるツールです。
 図面のコンバート、図形計測、図面比較、連続印刷、マークアップ、メール送信も可能です。

■ダイレクトコンバータ

20種類を超えるダイレクトコンバータを標準搭載していますので、図面フォーマットを気にする必要はありません。

特に、業界標準と位置づけられる DXF, DWG フォーマットに関しては、最新のバージョンから粗悪なフォーマットまで、幅広く対応しており、今まで困難とされていたレイアウト空間や、一般的にトラブルが多いとされる寸法線に関しても、業界最高水準の変換精度を誇っています。

また、建築土木業界で標準化が進められている SXF フォーマットにも逸早く対応し、JW_CAD やアンドール社の CADSUPER についても積極的にサポートしています。
 イラストや写真などのイメージデータも、図面と同じ感覚で読み込みが可能となっており、イメージデータ閲覧用に特別なツールを用意する必要はありません。

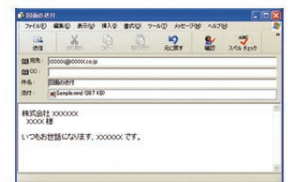


■連続処理

連続処理は大量の図面を一括で、しかも簡単な操作で処理できる便利なツールです。一括印刷したい、一括コンバートしたい、一括イメージ化したいなど、様々な用途に対応しています。
 ファイルブラウザの検索機能を活用することで、飛躍的に効率アップできます。

■メール送信

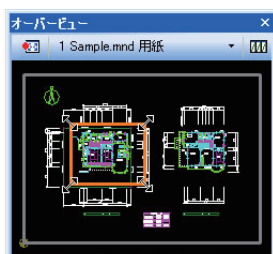
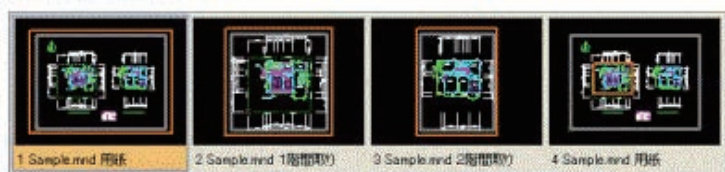
開いている図面を、そのままメールで送りたい場合、メール送信をご利用ください。
 使い慣れたメールソフトが起動し、開いている図面が自動で添付されます。



■オーバービュー

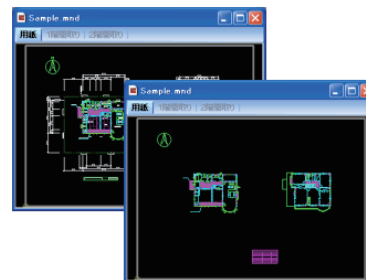
アクティブな図面の全体図とメインビューの表示エリアが常に表示されていますので、複雑な図面を拡大した場合でも、現在の位置関係をはっきり把握することができます。
 表示エリアをマウスでドラッグするだけで表示エリアの移動やサイズ変更が可能となっています。

表示エリアは複数登録することができ、作業中いつでも簡単に呼び出すことができます。
 また、図面や部分図をまたいで登録することができますので、図面や部分図の切り替え及びビューの拡縮操作が極端に減ります。



■表示マスク

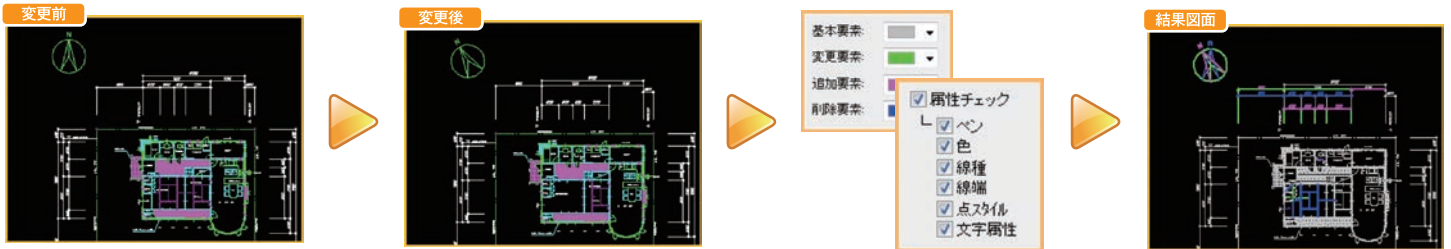
検図する際に、文字や実線以外が邪魔になったりしませんか？ 表示マスクウィンドウには全ての図形フィーチャーが表示されていますので、フィーチャー種別を ON/OFF するだけで図面の表示状態が切り替わります。



■エフコンプ

エフコンプの「図面比較」は新旧2つの図面の相違点をわかりやすくレポートしてくれるツールです。二つの図面を指定する事により、相違点を色分けした結果図面（合成図面）が作成されます。結果図面は前もって保存用のフォルダを指定しておく事で、自動保存が可能となっています。
 ※新旧2つの図面フォーマットが異なっても問題ありません。

「図面比較」は幾何学的な比較はもちろんのこと、図面名称や図番などの「図面情報」や、ペン番号や線種などの「図形属性」の比較も可能です。また、図形が全体的に移動してしまった図面も、自動で移動量を導き出しますので、特別な作業を必要としません。配置されている部品の比較など、「部品比較」を使えば図面上の特定の範囲だけを比較する事ができます。

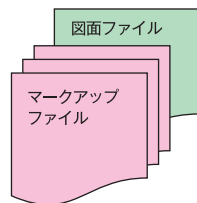


図面に関連ドキュメント（資料）をフォルダ単位で管理している場合、管理フォルダが多重に階層化されていると変更箇所を見落としてしまう事があります。「フォルダ比較」は、新旧2つのフォルダの相違点を簡単に調べ上げることができ、その際に「図面比較」も同時に行えますので、変更箇所の見落としがなくなります。比較結果の画面では、リストのフィルタリング、ファイルのコピー、削除、図面の表示などが行えます。

¥チームA¥シンボル1.dxf	フォルダ2の方が新しい	484KB	484KB
¥チームA¥シンボル2.dxf	フォルダ2の方が新しい	484KB	484KB
¥チームA¥シンボル3.dxf	フォルダ2の方が新しい	484KB	484KB
¥チームB¥パーツ1.dxf	フォルダ1のみ存在	484KB	
¥チームB¥パーツ2.dxf	フォルダ1のみ存在	484KB	
¥チームB¥パーツ3.dxf	フォルダ1のみ存在	484KB	
¥チームC¥レイアウト1.dxf	フォルダ2のみ存在		484KB
¥チームC¥レイアウト2.dxf	フォルダ2のみ存在		484KB
¥チームC¥レイアウト3.dxf	フォルダ2のみ存在		484KB

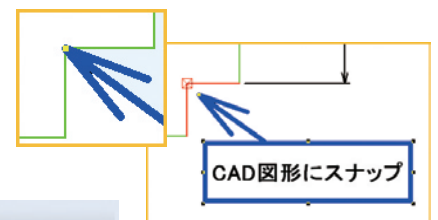
■マークアップ

このマークアップには引き出し付きコメントを始め、フリーハンスケッチのような雲形状もご用意していますので、CADの知識がなくても簡単に作成することができます。

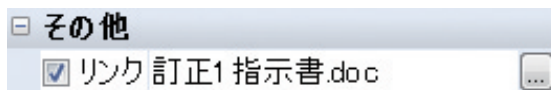


マークアップファイルは図面ファイル名と同名で保存することで、次回から図面を開くとマークアップファイルも自動で読み込まれます。

マークアップオブジェクトのグリッポポイントはCAD図形にスナップしますので、引き出し位置の指定やオブジェクトの位置合わせが簡単に行えます。



マークアップオブジェクトにハイパーリンクを指定することで、訂正箇所の詳細な指示を他のドキュメントと連携して行う事ができます。ハイパーリンクの付いたマークアップオブジェクトをダブルクリックするとハイパーリンク先のドキュメントが自動で開きます。



動作環境

OS	日本語 Windows 11 / 10 / 8.1 / 8 / 7 / Vista / XP (各32bit / 64bitに対応)	
CPU	Intel Core 1GHz 以上、または互換プロセッサ	
メモリ	512MB 以上	
ディスプレイ	1024×768 以上	1280×1024 以上を推奨
ハードディスク	500MB 以上の空き容量	
入力装置	マウス/キーボード	
出力装置	プリンタ：Windows 付属、または各メーカー提供のドライバ プロッタ：各メーカー提供の HP-GL 準拠のドライバ または SYSTEM-I 提供の HP-GL ドライバ	※Windows7以降は SYSTEM-I 提供のドライバは使用不可
ライセンス	ハードライセンスのみ	